

4周年を迎えて、今後生き残るためにやるべきこと

皆さん、おはようございます！

創業以来、売上や利益を目標の柱に立てたことがなく、最大の目標は「元気に・明るく・楽しく・でも仕事は後ろ向きにね！」でした。どんな高い数字よりも「仕事を楽しみ、仲間を作る」というスタッフの姿勢こそが事務所を成功に導くと固く信じているからです。

税理士事務所の生み出すサービスには、そこで働く人の姿が如実に映し出されます。特に経営のお困りごとを解決するという形のないものを販売する僕たちにとって、商品とはスタッフの姿勢そのものです。人は楽しんでのびのびと働いているときが一番よいものを生み出せるし、効率も上がります。ノルマで締め付けたり、馬にニンジンのようなインセンティブでやる気を引き出したりする方法は一時的には効果を発揮しても長続きはしません。

そうした外的動機ではなく、「働くことが楽しくてたまらない」とメンバーが感じる内的動機がなければ、よいサービスは生まれませんし、真の強い組織にはなり得ません。スタッフが楽しんで働いていなければ、お客様のことを真剣に考えられるわけがないのです。だからこそ、僕はいつも「まずはスタッフが元気に明るく楽しく働ける環境を作ることから始めなくては」と強く思っています。

すべての情報がオープンとなるこれからの時代、「完全に他事務所と差別化したサービス」などあり得ません。世の中に本当にユニークなものなどどこにもない、となったときに、最後の勝負を決めるのは人と組織風土です。「朝会社に行くのが楽しい」とスタッフがニコニコ出社してくる会社であれば、絶対に他事務所に負けることはないと思っています。

「この事務所の将来展望に関しては、ど、なのよ？」という問いに対しては、創業4年で成果が出た分を、今後3年、いや半分の2年で達成するぐらいのスピード感を目標としています。そのためには、顧問先を増やし、その質を変え、ともに長い旅路を歩くことになる仲間を増やさなければなりません。

あなたの人生に100%の責任は持てませんが、働きやすい環境を用意するつもりでいます。当事務所の職員行動規範をよく理解し、組織内における自分の居場所作りに励んでください。

どんな人でも「いい仕事をしたい」と願っています。リーダーである僕にできることは、その思いを叶えるための手助けをする、ただそれだけなのです。

令和3年6月21日

代表 東幸司